

教えて!

土岐市の家計簿

平成17年度下半期(10月～3月) 財政事情の公表

この公表は、市の財政状況を皆さんに理解していただくため、毎年2回行っています。

ここでは、平成17年度下半期(10月～3月)の予算執行状況や、企業会計の業務状況などについてお知らせします。

一般会計

歳入の根幹となる市税収入は、不振が続く地場産業の影響を受け、前年度(平成16年度)のほぼ横ばいで、依然として厳しい状況でした。また、国からの補助金を減らす代わりに税源を地方に移譲し、さらに地方交付税も見直しするという「三位一体改革」の推進で、今後も、より一層厳しい状況となることが予測されます。

こうした状況を踏まえ、適切な行政経費の遂行を目指し、最小の経費で最大の効果が得られるよう、行財政運営に努めています。

平成17年度の一般会計予算は、3月末現在で、当初予算に前年度からの繰越事業費と6回の補正を行った結果、199億7,819万円となっています(表参照)。

平成17年度下半期は、泉小学校改築事業やバーデンパークSOGI建設事業などを行いました。

特別会計

特定の事業を行ったり、特定の収入を特定の支出に充てたりするときは、一般会計と切り離して経理を行います。これを特別会計といい、本市の場合8種類あります(表参照)。

市債(長期借入金)

市の収入には、市税などのほか、学校・道路・公園・下水道など、一時的に多額の支出を伴う建設事業の財源として、長期借入金(市債)があります。市債は、将来にわたって負担を残すこととなりますが、世代間の公平負担の原則を尊重しつつ、返済能力の範囲内で運用しています(表参照)。

平成17年度は、泉小学校校舎改築事業やバーデンパークSOGI建設事業などで借り入れました。

企業会計

病院事業や水道事業などは、それぞれ一つの会社で事業を行っている見立て、独立して経理を行うのが一般的です。これを企業会計といいます。

表① 一般会計・特別会計の収入・支出の概況

会計名	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	199億7,819万円	179億0,060万円	133億8,440万円
特別会計			
曾木地区市有林管理	200万円	10万円	91万円
下水道事業	35億6,563万円	12億2,368万円	29億5,541万円
交通災害共済	2,181万円	1,370万円	1,822万円
国民健康保険	60億2,380万円	47億9,662万円	49億4,566万円
自動車駐車場事業	7,462万円	7,495万円	2,037万円
老人保健	60億9,745万円	49億2,304万円	51億8,432万円
介護保険	32億8,991万円	24億4,635万円	27億9,643万円
農業集落排水事業	1億8,902万円	1億1,371万円	7,075万円

※収入済額・支出済額は3月31日現在のもので、決算額とは異なります。

表② 市債の内訳

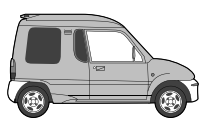
債目	金額
一般会計	
教育債	42億5,384万円
土木債	21億0,014万円
衛生債	16億3,523万円
商工債	6億5,068万円
民生債	6億8,074万円
その他	72億9,802万円
特別会計	
下水道事業債	183億4,592万円
農業集落排水事業債	2億2,710万円
企業会計	
病院事業債	57億7,660万円
水道事業債	73億7,329万円
合計	483億4,156万円

(平成17年度末の現在高)

市税の負担状況

3月末日現在の土岐市の人口を63,780人として市民一人当たりで計算すると…

市税負担額

固定資産税	市民税	都市計画税	たばこ税	軽自動車税	その他 (入湯税ほか)
					
49,537円	38,250円	8,199円	5,056円	1,576円	34円

合 計 102,652円

※収入見込み額を65億4,715万9千円として計算

企業会計の状況

病院事業の業務状況

平成17年度の利用者数は対前年度比で、入院が2,792人(2.5%)減少し、外来(居宅サービス含む)が10,085人(4.1%)減少しました。

《主な施設整備》

- ▷ 医療機器購入 7,916万円
- ▷ LANシステム構築 1,260万円

業務の状況

病 院 名	区 分	利用者数	1日平均利用者数
総 合 病 院	入 院	109,935人	301人
	外 来	223,682人	917人
駄知診療所	外 来	13,188人	54人
合 計	入 院	109,935人	301人
	外 来	236,870人	971人

施 設 名	区 分	利用者数	1日平均利用者数
老人保健施設 やすらぎ	入 所	32,874人	90人
	通 所	6,043人	21人

※入所に居宅介護サービスの入所利用含む。

経理の状況

病 院 名	区 分	金 額
総 合 病 院	収 入	67億6,830万円
	支 出	69億0,364万円
	差 引	△1億3,534万円
駄知診療所	収 入	9,196万円
	支 出	8,564万円
	差 引	632万円
合 計	収 入	68億6,026万円
	支 出	69億8,928万円
	差 引	△1億2,902万円

※総合病院に老人保健施設を含む。

水道事業の業務状況

平成17年度の配水量は677万m³(対前年度比0.10%増)、これに対する有収水量は634万m³(対前年度比0.89%増)となりました。有収率は93.58%(対前年度比0.73ポイント増)でした。

《主な施設整備》

- ▷ 配水池新設(増設・補修)工事 (1件・2,625万円)
- ▷ 配水管布設替工事 (6件・3,257万円)
- ▷ 公共下水道関連工事 (9件・7,260万円)

業務の状況

区 分	業 務 量
配 水 量	6,773,057m ³
有 収 水 量	6,338,059m ³
有 収 率	93.58%
給 水 件 数	22,742件
給 水 人 口	63,652人

※有収率=有収水量(料金となった水量)と配水量との割合

経理の状況

区 分	金 額
収 入	17億2,236万円
支 出	16億4,422万円
差 引	7,814万円